

小渕総理大臣のご要請に基づく産学官共同プロジェクト構想の推進

1999年6月30日 (社)経済団体連合会

デジタル・ニューディール構想(仮称)

【情報化対応】

- 知識社会の構築 -

豊かな国民生活と企業経営を実現するドリーム・ネットワーク・プロジェクトの推進と制度基盤整備

- ・ドリーム・ネットワーク・プロジェクト(人にやさしい利用技術、高度ネットワーク・セキュリティ技術等) インターネット向け定額通信料金制度導入

2003年に向けて世界最高水準のスーパー電子政府の実現

- ・効率的で質の高い行政サービスの実現

2000年3月までに教育情報化の基本戦略(情報リテラシー憲章)の策定

- ・高度情報通信社会を担う人材の育成

未来への架け橋

- ・市場原理に従い民間企業が研究開発を主導する。大学は人材と研究成果を積極的に市場に提供する。政府は、その研究開発支援および未来市場形成のため、関連インフラを含む環境整備等を省庁横断的に取り組む。
- ・それぞれの「プロジェクト」構想は、各技術の融合によって実現されることが期待される。

ヘルシー&セーフ ソサイエティ構想(仮称)

【高齢化対応】

- 活力ある長寿社会の実現 -

健康の維持、増進

- ・病気の発生メカニズムの解明(遺伝子暗号の解明、発病機構の解明と対策、ゲノム機能解析等) 高性能の医療機器等の開発等
- ・安全で安定的な食糧の確保(無農薬・高収量作物、機能性食品の開発、バイオ加工食品の開発 普及等)

高齢者の自立と積極的な社会参画

- ・機能回復を図るための機器開発、高齢者が活用できるネットワークの構築等

安心できる生活空間の創造

- ・生活空間のユニバーサル(バリアフリー)化、在宅推進等

エコ・ハーモニー構想(仮称)

【環境対応】

- 経済と環境を両立させる社会の実現 -

資源循環型社会の推進

- 大量廃棄社会から循環型社会への転換 -

- ・廃棄物減量化・再資源化のための技術開発、廃棄物処理施設の整備促進
- ・化学物質等の自主管理の推進

中長期的な地球温暖化対策の推進

- ・COP 3で決定された目標を踏まえ中長期的なCO2対策の推進等
- ・温暖化対策に有効な技術開発(カーボンミニマム技術(燃料電池の開発 普及等) カーボンフリー技術(原子力の推進、水素エネルギーの活用等) カーボンストック技術(CO2の吸収、固定)等)

産学官連携により戦略的 計画的に推進すべき

情報化、高齢化、環境対応の共通基盤をなす融合型技術開発分野例

情報通信技術: 人にやさしい利用技術(誰もが利用できる入出力) 高度ネットワーク・セキュリティ技術、次世代情報通信技術(スーパー・インターネット等) 未来型光ネットワーク技術、エネルギー高効率利用技術(省エネ) 情報マイニング技術、ITS、ETC等

バイオテクノロジー 技術開発と事業化の一体的推進 - 国家戦略の策定(例:21世紀を生命の世紀として目指す「ヘルリックス計画(仮称)」の推進) 産学官連携の強化(ゲノム(ヒト、動植物、微生物)解析の加速化、生物資源の収集・保存・提供体制の強化、バイオインフォマティクス(バイオ研究の情報化推進)の推進、事業化の支援) 大学等におけるバイオサイエンス研究の推進

.....
新素材 新材料 新製造技術 新物質 新素材の創製、新機能材料の開発、既存材料の極限追求等

産業技術政策の推進

科学技術政策の立案 推進体制の強化
知的財産政策の積極的展開
技術開発力の強化に向けた組織、人材等の充実
国際標準化活動の積極的推進
科学技術データ等知的基盤整備

デジタル・ニューディール構想(仮称)

(1)豊かな国民生活と企業経営を実現するドリーム・ネットワーク・プロジェクトと制度基盤整備

ドリーム・ネットワーク・プロジェクト

- 1)人にやさしい利用技術
- 2)高度ネットワーク・セキュリティ技術
- 3)次世代情報通信技術
- 4)未来型光ネットワーク技術
- 5)高度道路交通システムの推進
- 6)エネルギー高効率利用技術
- 7)情報マイニング技術

制度基盤の整備

- 1)低額なインターネット向け定額通信料金の導入
- 2)情報通信法制の見直し- 電気通信事業法等
- 3)情報化に対応した制度整備 - デジタル化・ネットワーク化を想定していない制度の改革 (訪問販売法、学校教育法、測量法、その他経済・社会制度等)

(2)2003年に向けて世界最高水準の電子政府の実現 (スーパー電子政府)

〔課題〕

政府調達、政府への申請・申告、歳出・歳入手続き等の原則100%電子化

オープン・データ・ポリシーの確立、行政情報の原則電子公開

政府部内の文書交換の原則100%電子化

国及び地方公共団体の全ての公共機関 (医療・福祉を含む)に共用され、行政の電子化基盤となる総合的ネットワーク構築と、質の高いサービスの効率的提供

国及び地方公共団体の全ての電子化に向けた具体的な数値目標とスケジュールの設定

〔トリガー・プロジェクト〕

今後3年間、各省庁において、2つ以上の象徴プロジェクトを選定し、電子申請、電子調達を実施 (手数料納付の電子化、政府側認証システムの体系的構築を含む)

今後2年以内に、中央省庁内・間の文書処理、文書交換、公開文書を原則100%電子化

地域情報、地理情報、文化遺産等について、デジタル・アセットとしての整備、ネットワークによる公開

ICカードを活用し、行政サービスの電子化、ワンストップサービスの大規模実証実験 (公務員から)

医療・福祉の情報化推進 (健康保険証のICカード化、カルテ・レセプトの電子化、国公立病院の電子化等)

(3)2000年3月までに国民の情報リテラシーの飛躍的向上を図るための教育情報化の基本戦略 (情報リテラシー憲章)の策定

〔課題〕

世界最高レベルの教育情報化の実現

教育ツールとしての情報通信技術の活用

学校の課題への対応のための情報通信技術の活用

先端的な情報通信技術の開発、利用を担う人材の育成

教育の情報化に関する具体的な数値目標、実現に向けたスケジュールの策定

〔トリガー・プロジェクト〕

全「教室」へのインターネット導入、小・中・高校のアクセス回線の低廉化・大容量化、無線技術の活用

地域人材の活用、教育のアウトソーシング

全学校におけるホームページの立ち上げ、電子メールの活用

公立学校教育情報化のための費用の特別交付税化

教育情報データベースセンターの整備

大学・研究所間的高速情報ネットワークの拡充

高齢者、障害者等の情報通信社会への参画を支援する制度の整備

ヘルシー&セーフソサイエティ構想(仮称)

(1)健康の維持・増進 - 93年で高齢者の12%を占める要介護老人(200万人)を2015年までに3分の2にする -

課題 病気の発生メカニズムの解明

研究開発： 遺伝子暗号の解明(ゲノム解析の加速化)、発病機構の解明と対策(バイオインフォマティクス技術開発等)、老人性疾患予防・対策の研究開発(骨粗しょう症、アルツハイマー等)

インフラ整備等：ゲノム塩基配列の解析・機能解析による基盤整備、実用化に向けた制度面を含む環境整備の推進(承認審査の迅速化、臨床試験体制の整備)、知的財産権の保護等

課題 高性能の医療機器・生体機能代替材料による治療

研究開発： 診断・治療の高度化に向けた機器、遺伝子診断・治療技術、人工臓器等の開発等

インフラ整備等：実用化に向けた環境整備(治験体制の整備等)

課題 安全で安定的な食糧の確保

研究開発： 無農薬・高収量作物、機能性食品(アレルギーフリー等)、バイオ加工食品の開発等

インフラ整備等：バイオに対する国民の理解・受容性の増進(普及・啓発活動)等

(2)高齢者の自立と積極的な社会参画 - 全高齢者の社会参画機会を提供できる社会の構築 -

課題 自立支援のための技術開発等

研究開発： 機能回復を図るための機器および高性能の医療機器の開発、生活支援ロボットの開発等

インフラ整備等：高齢者の就労・社会参画のための支援、情報提供等(独立ベンチャーの経営支援のための企業退職者等の活用、NPO活動への支援等)

課題 高齢者が活用できる情報ネットワークの構築

研究開発： ハード・ソフト両面で高齢者が使いやすい情報端末機器・コンテンツ等の開発等

インフラ整備等：高齢者に対するコンピュータ導入支援、高齢者世帯と商店等のネットワーク化等

(3)安心できる生活空間の創造 - 全生活空間のユニバーサル化(バリアフリー化)を目指す -

課題 生活空間のユニバーサル化(バリアフリー化)

研究開発： 1)ユニバーサル化製品の開発(低床式バス等)、高齢者にやさしい移動システムの開発、ITSの活用(歩行者支援等)、2)高齢者にやさしい住宅の開発、生活用品の開発等

インフラ整備等：1)全公共空間ユニバーサル化(駅・官公庁等公共施設、公共機関)、住空間等のユニバーサル化支援、2)高齢者身体機能のデータベース整備・標準化等

課題 迅速化・多様化するニーズへの対応

研究開発： 遠隔・在宅医療技術の開発、健康管理技術の開発等

インフラ整備等：実用化に向けた環境整備、福祉サービスの選択を可能とする環境整備(福祉サービス・機器の評価、標準化等)、健康管理システムの導入、在宅推進のための居住環境の整備等

．エコ・ハーモニー構想(仮称)

経済と環境を両立させる21世紀の環境戦略の視点

費用対効果を配慮した環境政策の推進、経団連環境自主行動計画の着実な取り組み等企業の自主性の尊重
世界の環境保全に資する次世代技術の開発・普及
技術開発等を核とする産業の環境化、環境の産業化の推進
地球規模での環境保全のための国際協力の推進

(1)資源循環型社会の推進

課題 〕製品ライフサイクル全体にわたる廃棄物、有害物質の最小化

研究開発： 製品ライフサイクル全体に係る廃棄物、有害物質の最小化のための設計・生産プロセスの開発および製品開発、リサイクルが容易な材料の開発等

インフラ整備等：インバースマニュファクチャリング関連技術の開発・設備の整備などへのインセンティブの付与、公共調達の拡充等

課題 〕使用済み製品の回収・リサイクルの促進とそのための環境整備

研究開発： リサイクル製品の用途拡大のための技術、素材毎に廃棄物を自動識別・分別するための技術、業際間連携による副産物の原料化のための技術

インフラ整備等：廃棄物処理業の許可ならびに施設設置に係る許可の緩和、広域処理の促進、ストックヤードの整備、情報ネットワーク、物流・輸送施設の整備、公共調達の促進等

課題 〕廃棄物処理施設の整備

研究開発： 廃棄物再資源化技術、エネルギー高効率回収技術の開発

インフラ整備等：一般廃棄物と産業廃棄物の混合処理の容認、PF手法等の活用による高度な無害化処理および効率的なエネルギー回収を行うことができる先駆的廃棄物リサイクル処理施設(ガス化溶融炉等)の整備等

課題 〕化学物質の自主管理の推進

研究開発： バイオ活用型素材、環境調和型プロセス技術の開発、活用、バイオレメディエーション技術、化学物質の測定・管理技術の開発等

インフラ整備等：化学物質の安全性基準等の明確化および測定方法の確立とデータベース構築(リスク評価の充実、有害性データの整備)等

(2)中長期的な地球温暖化対策の推進

課題 〕COP3で決定された目標を踏まえた中長期的な地球温暖化対策の推進

研究開発： 温暖化対策に有効な環境技術の開発・普及

- カーボンミニマム技術(省エネ、燃料転換、燃料電池(自動車用、分散型電源用)、蓄電池、超電導の開発・普及等)
- カーボンフリー技術(原子力の推進 - バックエンド対策の推進、核燃料リサイクルの確立等、太陽光発電等再生可能エネルギーの開発・普及、水素エネルギーの製造・利用、核融合炉(ITER等)の開発等)
- カーボンストック技術(CO₂の吸収、固定 - バイオ技術の活用等)
- その他温室効果ガスの削減技術の開発・普及等

インフラ整備等：温暖化対策の実効ある推進

- 産業部門の対応に加え、新エネルギー供給ネットワーク、カスケード利用、ITS等都市インフラの整備等を促進、ビル・住宅等の省エネルギー化、未利用エネルギー等、民生・運輸部門を中心とした対策を実効あるものにする)
- 国際的柔軟性措置の活用に向けての枠組みづくり、省エネルギー、トッパー方式の普及等